⑸　柳沢峠山小屋
①　減損の兆候が認められた固定資産の概要
用途：山小屋
種類：建物
場所：山梨県甲州市塩山大字小屋敷字滑沢2319番１
期首帳簿価格：1,775千円（建物1,775千円）
②　減損の兆候の概要
固定資産が使用されている業務の実績が、中期計画等の想定に照らし、著しく低下しているため。
③　減損の認識に至らない根拠
現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。
⑹　電話加入権（休止分９回線）
①　減損の兆候が認められた固定資産の概要
用途：電話回線
種類：電話加入権
場所：東京都目黒区大岡山２―12―１
期首帳簿価格：54千円
②　減損の兆候の概要
固定資産が使用されている業務の実績が、中期計画等の想定に照らし、著しく低下しているため。
③　減損の認識に至らない根拠
現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。
⑺　大洗合宿研修所
①　減損を認識した固定資産の概要
用途：研修所
種類：土地、建物、建物附属設備、及び構築物
場所：茨城県東茨城郡大洗町大貫字角一257
期首帳簿価格：348,374千円（土地309,000千円、建物32,265千円、建物附属設備4,240千円、構築物2,868千円）
②　減損の認識に至った経緯
年間利用率の目標達成が困難だったため、固定資産の全部について、平成21年９月30日をもって廃止する決定を行いました。平成22年２月19日に、固定資産の全部について、大洗町へ貸与する用途変更の決定を行いました。
③　減損額
損益計算書に計上していない金額：土地69,308千円
建物、建物附属設備及び構築物は、帳簿価額は回収可能サービス価額に比して低廉なため、減損額は計上されません。
④　回収可能サービス価額
土地、建物、建物附属設備及び構築物について、使用価値相当額が正味売却価額と比較し高いため、回収可能サービス価額は使用価値相当額を採用しております。使用価値相当額は減価償却後再調達価額をもって算定しております。
⑻　鹿沢合宿研修所
①　減損を認識した固定資産の概要
用途：研修所
種類：土地、建物、建物附属設備、及び構築物
場所：群馬県吾妻郡嬬恋村大字鎌原字湯の丸山1053―834
期首帳簿価格：84,300千円（土地21,000千円、建物57,637千円、建物附属設備1,683千円、構築物3,980千円）
②　減損の認識に至った経緯
年間利用率の目標達成が困難だったため、固定資産の全部について、平成21年９月30日をもって廃止する決定を行いました。
③　減損額
損益計算書に計上していない金額：土地2,553千円
建物、建物附属設備及び構築物は、帳簿価額は回収可能サービス価額に比して低廉なため、減損額は計上されません。
④　回収可能サービス価額
土地、建物、建物附属設備及び構築物について、使用価値相当額が正味売却価額と比較し高いため、回収可能サービス価額は使用価値相当額を採用しております。使用価値相当額は減価償却後再調達価額をもって算定しております。
⑼　猿楽町施設
①　減損を認識した固定資産の概要
用途：オープンスペース
種類：土地、建物、建物附属設備、及び構築物
場所：東京都渋谷区猿楽町57―６
期首帳簿価格：255,854千円（土地226,000千円、建物28,923千円、建物附属設備930千円、構築物０千円）
②　減損の認識に至った経緯
利用が見込まれない状況のため、平成22年１月22日をもって廃止の決定を行いました。
③　減損額
帳簿価額は回収可能サービス価額に比して低廉なため、減損額は計上されません。
④　回収可能サービス価額
土地、建物、建物附属設備及び構築物について、使用価値相当額が正味売却価額と比較し高いため、回収可能サービス価額は使用価値相当額を採用しております。使用価値相当額は減価償却後再調達価額をもって算定しております。
⑽　地球史資料館
①　減損を認識した固定資産の概要
用途：教育研究施設
種類：建物、及び建物附属設備
場所：東京都目黒区大岡山２―12―１
期首帳簿価格：17,614千円（建物7,876千円、建物附属設備9,738千円）
②　減損の認識に至った経緯
当該用地に新たに図書館を建設することから支障建物となり、平成21年５月22日をもって廃止・取壊しの決定を行いました。
③　減損額
損益計算書上に計上していない金額：建物7,776千円、建物附属設備9,543千円
④　回収可能サービス価額
使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行いました。